

令和7年度一般入試(前期日程) 法文学部・工学部(外国語)出題意図

I

英文和訳問題によって、①基本的な文法事項（the way 主語＋動詞，just as＋主語＋動詞，形式主語など）を理解し，さらには②文全体の構造（主語 people と動詞 predict）を把握した上で，いかに日本語らしい表現に置き換えられているかを問う。設問5と7によって，設問前後の英文の内容が理解できているかを問うとともに，設問2によって，英文全体の内容がしっかりと押さえられているかを見る。空所補充問題においても同様に，最終段落の英文の内容を把握した上で解答しているかどうかを見る。

II

設問1の英文和訳問題では，基本的な文法事項（if以下の省略された受動文，nothingを主語とする否定表現など）が理解できているか，さらに，設問4，5，6では，文脈における前後関係（代名詞の指示対象や，定冠詞や指示代名詞を伴う名詞句が先行するなどの名詞句を置き換えたものであるかなど）がきちんと把握できているかを問うとともに，いかに日本語らしい表現で解答できているかを見る。また，設問2，3では，語法や文法に関する知識だけでなく，日本の伝統文化である俳句の読み解き方という長文のテーマを理解したうえで，的確な日本語で解答する力を問う。

III

設問1の会話表現の英作文においては，きわめて日常的なやりとりを簡潔で自然な英語で表現する力を問う。

設問2の長文の英作文においては，日本人のおじぎや正座の習慣などの文化的な事象についての説明を、文法・語法・語彙の知識を駆使して英語で表現する力が身についているかを問う。